

縄文土器 ^{ふかばち} 深鉢が出土！



出土した縄文土器 深鉢

さまざまな遺物が出土している空畑遺跡で、こんどは縄文土器の深鉢が出土しました。縄文時代前期の土器は薄手のものが多いこともあり、空畑遺跡ではこれまで全体形のわかる土器はほとんど出土していませんでした。

今回、墓の可能性のある楕円形の穴の掘削を行ったところ、穴の底から写真のような土器が出土しました。半身と底部を欠いていますが、煮炊きなどに使われる深鉢と考えられます。

深鉢の上半部には、粘土紐を数条、水平に貼り付け、さらに半円や斜めに粘土紐を貼り付けて文様がほどこされています。このような文様は東海地方の縄文時代前期の土器には比較的好くみられるものです。

深鉢の下半部にはススが付着しており、この土器が実際に煮炊きに使用されていたことがうかがわれます。

<問い合わせ先>

〒511-0415 いなべ市北勢町東貝野454番地

三重県埋蔵文化財センター 調査研究4課 いなべ整理所 担当者：勝山孝文・松永達也

電話番号：0594-72-8955 FAX：0594-72-8970 e-mail：maibun@pref.mie.lg.jp